

**製品名: HIKESHI ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86918**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:22 kDa; Observed MW:22 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HIKESHI
別名	HLD13; L7RN6; OPI10; HSPC138; HSPC179; C11orf73
遺伝子 ID	51501
SwissProt ID	Q53FT3
免疫原	ヒト HIKESHI の合成ペプチド

**背景**

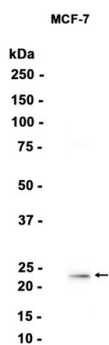
この遺伝子は、進化的に保存された核輸送受容体をコードしており、熱ショック誘導性の 70kDa 熱ショックタンパク質 (Hsp70) の

核内輸送を、FG 核孔タンパク質との相互作用を介して媒介する。このタンパク質は、熱ショックストレス条件下では、Hsp70 タンパク質の ATP 型の輸送を媒介するが、ADP 型の輸送は媒介しない。構造解析により、このタンパク質は非対称ホモ二量体を形成し、N 末端ドメインは FG 核孔タンパク質の認識に關与する疎水性ポケットを含むジェリーロール/ベータサンドイッチフォールド構造で構成されていることが示された。HeLa 細胞において、低分子干渉 RNA を用いて RNA 発現レベルを低下させると、熱ショック誘導性の Hsp70 の核内蓄積が阻害されることから、この遺伝子が熱ショックストレス下における Hsp70 の核内輸送の制御に役割を果たしていることが示唆される。[RefSeq 提供、2016 年 4 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



HIKESHI ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。